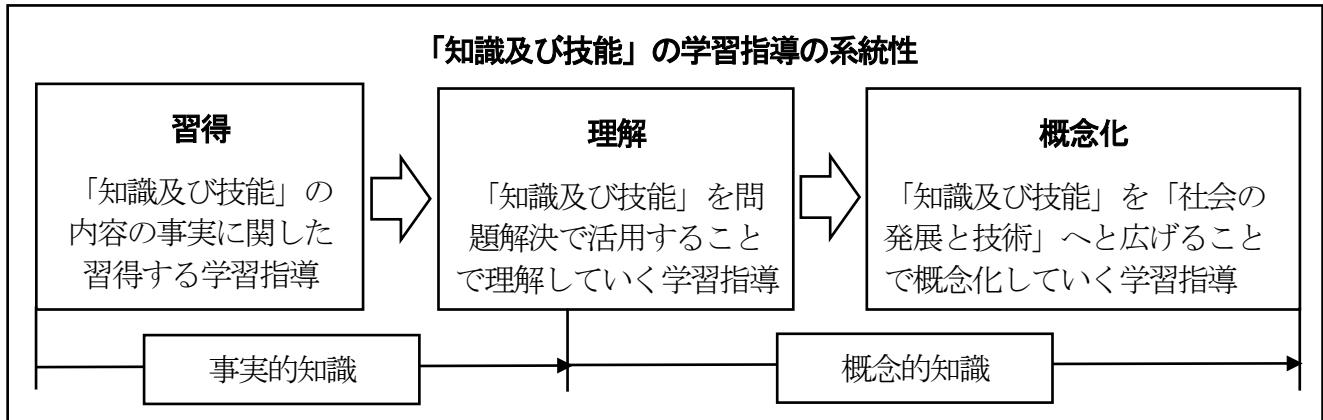


<206> 問題解決で「知識及び技能」の扱い方のコツとは？

「知識及び技能」は、「知識」を教科書1章で扱い、「技能」を2章（D編は3章も）で扱いますが、その段階で学習指導が終わるわけではありません。次に示すように、習得した「知識及び技能」を「問題解決」や「社会や産業の技術」で活用することで、習得から理解、そして理解から概念化までもっていくことがコツになります。なお、習得→理解→概念化と進むにつれ、「事実的知識」が「概念的知識」へとなっていきます。



なお、どの段階で学習評価するかは、「<304> 観点「知識・技能」を学習評価するエッセンスは？」を参照して下さい。